



Infor LN 倉庫管理 隔離検査処理 ユーザガイド

Copyright © 2017 Infor

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	whquarantineug (U9876)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017年12月19日

目次

文書情報

第1章 概要.....	9
隔離検査在庫.....	9
隔離検査までの処理フロー.....	9
隔離検査在庫レコード.....	9
隔離検査在庫を処理するには.....	10
発注先に支払可能.....	11
設定.....	11
第2章 隔離検査までの処理フロー.....	13
隔離検査への入庫 - 製造時の不合格.....	13
在庫のレベル、ペグ、所有権.....	13
バックオーダーなし.....	13
隔離検査へ - 入庫または出庫検査で不合格.....	14
在庫のレベル、ペグ、所有権.....	14
第3章 隔離検査処理.....	15
隔離検査 ID と処分ラインの処理方法.....	15
複数の処分ラインの処分を指定する方法.....	15
一部処分.....	16
一部処分の別手順.....	16
隔離検査在庫の処理 - 廃棄.....	16
隔離検査在庫の処理 - 現状のまま使用/不良なし.....	17
入庫.....	17
入庫勧告またはブロック解除.....	17
在庫のレベル、ペグ、所有権.....	17
隔離検査在庫の処理 - 販売業者に返品.....	18
ペギング不合格品の返品.....	18
所有権.....	19
隔離検査在庫の処理 - 再作業.....	19
ペギング.....	20
所有権.....	20

バックフラッシュ.....	20
隔離検査在庫の処理 - 再分類.....	20
所有権.....	21
第4章 扱い単位.....	23
隔離検査在庫の扱い単位.....	23
隔離検査扱い単位のロット品目とシリアル番号付品目.....	23
倉庫検査中の扱い単位の廃棄と不合格.....	23
扱い単位と処分ライン.....	24
扱い単位構造の処分の指定.....	24
処分のリセット.....	25
扱い単位の処分の処理.....	25
現状のまま使用/不良なし.....	26
廃棄.....	26
販売業者に返品/再作業 (既存の仕様または新しい仕様).....	26
再分類.....	26
返品予定または再作業予定である扱い単位の処分オーダーの処理.....	26
隔離検査扱い単位の処理方法.....	27
扱い単位の再作業または返品.....	27
扱い単位の分割.....	27
扱い単位の移動.....	27
隔離検査扱い単位の削除.....	28
第5章 設定.....	29
隔離検査在庫の設定.....	29
第6章 発注先に支払可能.....	31
発注先に未払の隔離検査在庫.....	31
発注先に未払と標準の隔離検査処理の比較.....	32
発注先に未払 - 現状のまま使用/不良なし.....	33
発注先に未払 - 隔離検査在庫を廃棄する.....	34
発注先に未払 - 隔離検査在庫を返品する.....	34
購買返品または再作業オーダーの出庫オーダーラインの所有権.....	35
第7章 不適合資材.....	37
倉庫管理隔離検査 - 不適合資材レポート.....	37

レポート作業手順の完了.....	38
一部処分.....	38
付録A 用語集.....	39
索引	

文書情報

このガイドでは、隔離検査処理の概要を紹介し、隔離検査手続きの設定と使用について説明します。

対象者

本書では、隔離検査済在庫の処理方法および隔離検査機能の設定方法について、目的達成のために最適な方法で学習したい方を対象としています。エンドユーザおよび管理者レベルのユーザのいずれも、必要な情報が見つかります。

前提とする知識

倉庫での隔離検査済商品の扱いを含む業務プロセスに精通し、LNの機能に関する一般的な知識があると、本書の理解に役立ちます。さらに、倉庫管理トレーニングコースを受講すると、理解を深めることができます。

本書の概要

第1章「概要」では、隔離検査処理の用途および一般特性について説明しています。

その後続く章では、隔離検査を含むロジスティック処理、隔離検査における商品の処理、扱い単位の隔離検査処理、およびマスターデータの処理について説明しています。特に、不適合資材レポート (NCMR) と組み合わせた未払バリエーションおよび隔離検査処理について考慮しています。

本書では、隔離検査を処理して実行する手順について説明し、LNで実行する基本的な処理に関する情報を提供しています。最も重要なセッションウィンドウおよびそこに含まれるフィールドについて解説していますが、すべてのソフトウェア構成要素を完全に説明することは本書では想定していません。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックから構成されています。そのため、マニュアル内のその他のセクションへの参照は、次の例のように示されています。

参照セクションを探すには、目次を参照してください。

下線の付いた用語は、用語定義へのリンクを示しています。本書をオンラインで表示した場合は、下線の付いたテキストをクリックすると、本書の巻末にある用語定義に移動します。下線の付いていない参照には、用語定義やその他の要素へのリンクはありません。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

隔離検査在庫

不合格商品を隔離検査倉庫または隔離検査場所に移して、廃棄、現状のまま使用、再作業、販売業者に返品など、その処分方法を決めることができます。

隔離検査までの処理フロー

在庫は、以下の途中で最初に不合格になった場合、隔離検査に回されます。

- 製造時に作業が完了して、[不合格完成品を隔離検査に移動] が指定されているとき
- 入庫検査で以下が入庫したとき
 - 製造最終品目
 - 購買品目
 - 販売返品オーダーの販売品目
 - 企業計画分配オーダー
- 出庫検査で以下を出庫したとき
 - 製造に回す資材。出庫オーダーラインは、出庫が開始された製造オーダーに基づいています。資材は出庫検査時に不合格にされて、隔離検査に送られます。
 - 販売する品目。最終品目は出庫検査時に不合格にされて、隔離検査に送られます。
 - 企業計画分配オーダー
- 以下の処理時の倉庫間の転送
 - 出庫
 - 入庫

隔離検査在庫レコード

在庫が隔離検査に送付されると、隔離検査 ID が作成されるか、既存の隔離検査 ID に在庫が追加されます。隔離検査 ID をマニュアルで作成することはできません。隔離検査在庫レコードは、ヘッダと 1 つ以上の処分ラインから構成されます。処分ラインは不合格の ストックポイント ごとに作成されます。

隔離検査に送付されて、以下のデータが合致すると、不合格在庫は既存の隔離検査 ID に追加されます。

- 倉庫
- 品目
- オーダー発生元

- オーダ
- オーダセット
- オーダライン
- オーダ順序
- 作業手順
- 検査
- 検査連番

製造作業手順で不合格になった品目は、倉庫検査を実施しないで隔離検査に送付されます。そのため、この品目については以前のリストの検査フィールドは使用されません。

以上のデータが一致しない場合、新しい隔離検査 ID が作成されます。

隔離検査 ID は、倉庫入庫/出庫検査、または製造オーダから作成される倉庫入庫オーダラインに対応します。隔離検査 ID は 1 つ以上の不適合資材レポート (NCMR) にも対応します。不適合資材レポートは、発生元オーダも含み、該当する場合は、検査も含まれます。

隔離検査在庫を処理するには

隔離検査在庫の処理では、処分方法や理由コードなどのデータを必要に応じて指定し、隔離検査 ID または選択した処分ラインの [処理] オプションを選択します。処分ラインの一部について処分を実施することもできます。

選択した処分に応じて、選択した品目の処理に使用する処分オーダ、入庫手順、または入庫勧告が作成されます。

処分	処分オーダ/結 果	記述
[現状のまま使用]	入庫手順	<p>倉庫への入庫が作成されます。入庫は自動的に確認されてプットアウトされます。保管場所が該当する場合は、入庫の確認後、入庫勧告が作成されます。</p> <p>これは、隔離検査在庫が購買オーダまたは購買スケジュールから作成され、発注先に未払の隔離検査在庫 (ページ 31) の設定が有効でない場合に適用されます。</p>
	入庫勧告	<p>入庫手順なしでピッキングまたはバルク保管場所に入庫勧告が作成されます。保管場所が該当しない場合は、在庫の品目がブロック解除されます。</p> <p>これは、発注先に支払可能の方法が有効である購買オーダまたは購買スケジュールから作成された品目に適用されます。また、発注先に支払可能の設定を問わずその他のオーダから作成された品目にも適用されます。</p>
[不良なし]	[現状のまま使用]	[現状のまま使用] と同じ
[廃棄]	調整オーダ	在庫から品目を削除します。

[販売業者に返品]	購買返品オーダー	発注先に品目を返します。
[再作業 (既存の仕様)]	製造オーダー	品目を不合格にしたワークセンタに品目を出庫します。
[再作業 (新しい仕様)]	製造オーダー	ユーザが品目の新しいIDコードを指定します。オーダーは、元の品目を不合格にしたワークセンタに品目を返します。
[再分類]	品目転送オーダー	ユーザが品目の新しいIDコードを指定します。オーダーは、新しい対象品目を同じ倉庫に保管します。保管場所が該当する場合、ピッキングまたはバルク保管場所を指定できます。

入庫手順または作成された処分オーダーの入庫/出庫手順の活動が自動的に設定される場合、隔離検査在庫の処理後、以上のステップは自動的に実行されます。それ以外の場合、選択した処分オプションの入庫/出庫手順を完了するにはマニュアル手順が必要になることがあります。

発注先に支払可能

入庫検査で不合格になった品目の場合、発注先に未払機能により、倉庫検査と隔離検査処理が完了する前に、入庫済数量全体の請求と支払が可能になります。これにより、処分の手順に長い時間がかかることによる発注先への支払遅延のリスクを排除できます。廃棄済、破壊済、または返却済商品の決済は、隔離検査処理後に実行されます。

購買オーダーまたは購買スケジュールから発生した購買隔離検査品目の場合、発注先に未払パラメータが有効でないと、再作業オプションと再分類オプションは使用できません。これは、[発注先に支払可能]チェックボックスがオフの場合、発注先が不合格品目の所有者であり、不合格商品に支払がなされないのに対し、再作業または再分類は発注先に支払が行われる場合にのみ許されているためです。

設定

隔離検査処理を使用するには、該当する品目と倉庫についてこの機能を有効にする必要があります。処分オーダーのデフォルトのオーダーシリーズとオーダータイプを定義すると、隔離検査処理が強化されます。

倉庫で保管場所を管理する場合は、隔離検査場所を定義する必要があります。不合格になって隔離検査に移動される品目について、デフォルトの特定の隔離検査倉庫を定義できます。

在庫計画を最適化するには、企業計画、時系列オーダーポイント、SICを使用して、計画の隔離検査における在庫の利用可能性を指定する必要があります。

第2章

隔離検査までの処理フロー

2

隔離検査への入庫 - 製造時の不合格

製造作業手順が処理中であると、作業の完了レポート (tisfc0130m000) セッションで品目を不合格にすることができます。[不合格完成品を隔離検査に移動] オプションを選択すると、製造倉庫オーダと関連倉庫オーダが作成されます。この倉庫オーダは、処理タイプが [入庫] です。

倉庫オーダのオーダ発生元は [JSC 生産] で、[オプション] タブの [隔離検査へ] チェックボックスがオンになっています。[出荷元コード] に、品目が不合格になったワークセンタが表示されます。[出荷先コード] に、品目のデフォルト移送先倉庫が表示されます。これは製造倉庫オーダから取得されます。移送先倉庫のデフォルト隔離検査倉庫が定義されている場合、[出荷先コード] にはその隔離検査倉庫が表示されます。

入庫が確認されると、不合格品目は移送先倉庫に送られ、隔離検査 ID が作成されます。保管場所が管理されている倉庫と品目である場合、入庫勧告または (該当する場合) 保管リストがプットアウェイされた後に、不合格品目は移送先倉庫と保管場所に送られます。このワークフローでは、倉庫検査は使用されません。倉庫手順に検査活動が存在する場合、倉庫オーダの検査活動はスキップされます。

在庫のレベル、ペグ、所有権

入庫が確認されるか、保管場所が該当する場合、入庫勧告または保管リストがプットアウェイされると、手持在庫とブロック済在庫が増加します。計画で在庫がブロックされているかどうかは、[計画に利用可能] パラメータの設定によって決まります。

ペギングが該当する場合、入庫ラインペグが作成され、入庫済数量はまず、所要日が一番近いペグに割り当てられます。これは、隔離検査の品目は、特に通知がない限り、不合格とみなされるためです。

製造時に不合格になって隔離検査に送付された顧客所有品目または委託品目は、顧客所有入庫 (whwmd2550m100) または委託入庫 (whwmd2550m000) セッションに表示され、その品目の [隔離検査在庫] チェックボックスがオンになります。隔離検査中にそのような品目の所有権は変化しないため、品目の再作業ができます。

バックオーダなし

一部入庫の場合、最終入庫が確認された後、バックオーダが作成されません。これは、製造時に隔離検査に送られた品目ではサポートされていません。

隔離検査へ - 入庫または出庫検査で不合格

品目 - 倉庫管理 (whwmd4500m000) セッションの [不合格処理] フィールドで [隔離検査] または [廃棄/隔離検査] オプションが選択されている場合、入庫または出庫検査時に不合格になった品目を隔離検査に送ること、または、廃棄か隔離検査のどちらかを実行することができます。検査が処理された後、不合格品目は隔離検査倉庫または隔離検査場所に移動されます。入庫または入庫勧告は作成されません。

不合格品目を含む処理済検査ラインごとに処分ラインが作成され、隔離検査在庫 (whwmd2671m000) セッションに表示されます。不適合参照、検査テキスト、または画像が存在する場合は、検査ラインから処分ラインにコピーされます。

検査中に廃棄された品目については、検査が処理されたときに別の処分ラインが作成され、その後、在庫からその品目を削除する調整オーダが作成されます。この処分ラインについては、隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションの [検査中に廃棄] チェックボックスがオンになります。

在庫のレベル、ペグ、所有権

品目が隔離検査倉庫または隔離検査場所に置かれると、手持在庫とブロック済在庫が増加します。計画で隔離検査済在庫が使用できるかどうかは、[計画に利用可能] パラメータの設定によって決まります。

入庫または出庫検査の後、隔離検査に送付された不合格品目は、以下の条件に該当する場合を除いて、検査中に取得したペグと所有権のプロパティを保持します。

- 品目の発生元が購買オーダまたは購買スケジュールである
- [発注先に支払可能] チェックボックスがオンになっている

隔離検査 ID と処分ラインの処理方法

隔離検査在庫の処理では、処分方法や理由コードなどのデータを必要に応じて指定し、隔離検査 ID または選択した処分ラインの [処理] オプションを選択します。処分ラインの一部について処分を実施することもできます。

選択した処分に応じて、選択した品目の処理に使用する処分オーダー、入庫手順、または入庫勧告が作成されます。

隔離検査 ID とその関連処分ラインを処理するには、以下を実行します。

1. 隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000) セッションで、処理する隔離検査 ID をダブルクリックします。隔離検査在庫 (whwmd2671m000) セッションが開き、隔離検査 ID の処分ラインが表示されます。
2. [処分] タブの [処分] フィールドで、処分ラインそれぞれについて、処分と理由コードを選択し、必要に応じてその他の情報も指定します。
3. ヘッダセクションの適切なメニューから [処理] を選択します。

注意

- 別の方法として、隔離検査在庫 (whwmd2672m100) ワークベンチセッションを使用して、期限過ぎ、当日期限、期限前の処分ラインを選択し処理することができます。
- [処理] を選択できるのは、処分が [処分待ち] 以外の処分ラインがある場合です。
- 処分オプションと理由を選択した後、データを保存して隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000) セッションを閉じることができます。処分ラインは後のステージで処理できます。
- まだ処理していない場合は、処分ラインの処分を変更できます。

複数の処分ラインの処分を指定する方法

1. ある隔離検査 ID のすべての処分ラインまたは選択したいくつかの処分ラインについて、処分と処分データをまとめて指定することができます。
 - すべての処分ラインの場合
隔離検査在庫 (whwmd2671m000) セッションのヘッダセクションの適切なメニューから [処分] を選択します。

- 選択した処分ラインの場合
隔離検査在庫 (whwmd2671m000) セッションのラインセクションで、該当する処分ラインを選択し、適切なメニューから [処分] を選択します。
- 2. 処分 (whwmd2272m200) セッションが開き、現在の隔離検査 ID の情報が表示されます。処分、理由、その他の情報を必要に応じて指定します。
- 3. [処理] をクリックして、処分が [処分待ち] 以外の処分ラインを処理します。

注意

[処理] をクリックしないで、データを保存してセッションを閉じることもできます。処分ラインは後のステージで処理できます。

一部処分

同じ処分ラインについて異なる処分を決定する必要がある場合は、一部処分を実行できます。処分ラインの一部について処分と理由を指定して、その一部を処理することができます。

1. 隔離検査在庫 (whwmd2671m000) セッションの [処分] タブで、処分ラインを選択します。
2. [処分] タブの適切なメニューから [ライン分割...] を選択します。
3. 開いた隔離検査在庫処分の分割 (whwmd2272m100) セッションのヘルプ情報を読みます。
4. 処分ラインの分割後、分割した処分ラインそれぞれに必要な処分を適用します。

一部処分の別手順

1. 隔離検査在庫 (whwmd2671m000) セッションの [処分] タブで、処分ラインを選択します。
2. [処分] タブの適切なメニューから [処分] を選択します。
3. 開いた処分 (whwmd2272m200) セッションのヘルプ情報を読みます。このセッションには選択した処分ラインの情報が表示されます。

隔離検査在庫の処理 - 廃棄

隔離検査 ID または処分ラインについて [廃棄] を選択した場合、隔離検査倉庫または隔離検査場所から廃棄在庫を削除する調整オーダが作成されます。

調整オーダは、隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションの [処分オーダ] フィールドに表示されます。調整オーダを開くには、隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションの適切なメニューで [処分オーダ] を選択します。

在庫概要セッションで、以前は隔離検査済在庫がブロック済として表示されていましたが、廃棄数量が削除されます。

入庫検査または入庫オーダラインからの隔離検査で非所有品目の廃棄数量は、顧客所有入庫 (whwmd2550m100) または委託入庫 (whwmd2550m000) セッションから引かれます。

ペギングが該当する場合、廃棄数量はまず、所要日が一番近いペグから差し引かれます。廃棄数量は、入庫隔離検査済品目の場合、入庫ラインペグ配分 (whinh3528m000) セッションに、出庫

隔離検査済品目の場合、出庫オーダーラインペグ配分 (whinh2190m000) セッションに表示されません。

隔離検査在庫の処理 - 現状のまま使用/不良なし

隔離検査済品目を受け入れると、つまり、隔離検査 ID または処分ラインについて [現状のまま使用] または [不良なし] を選択した後、受入品目は在庫に入られます。

隔離検査済品目の発生元と在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [発注先に支払可能] パラメータの設定に応じて、入庫または入庫勧告が作成されるか、隔離検査在庫がブロック解除されて受入品目が在庫に保管されます。

入庫

これは、隔離検査在庫が購買オーダーまたは購買スケジュールから作成され、発注先に未払の隔離検査在庫 (ページ 31) の設定が有効でない場合に適用されます。

倉庫への入庫が作成されます。入庫は自動的に確認されてプットアウェイされます。保管場所が該当する場合は、入庫の確認後、入庫勧告が作成されます。

この入庫は、在庫が隔離検査に回されたオリジナルオーダーラインから発生します。

入庫勧告またはブロック解除

入庫手順なしでピッキングまたはバルク保管場所に入庫勧告が作成されます。保管場所が該当しない場合は、在庫の品目がブロック解除されます。

これは、発注先に支払可能の方法が有効である購買オーダーまたは購買スケジュールから作成された品目に適用されます。また、発注先に支払可能の設定を問わずその他のオーダーから作成された品目にも適用されます。

在庫のレベル、ペグ、所有権

隔離検査済品目を受け入れられると、以下が実行されます。

- ブロックされていた不合格在庫のブロックを解除します。
- 在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [計画に利用可能] パラメータで [No] または [期日別] が選択されている場合、計画のためにブロックされていた不合格在庫のブロックを解除します。
- 入庫検査または入庫オーダーラインから発生した隔離検査の非所有品目のブロックを解除します。更新された数量は顧客所有入庫 (whwmd2550m100) または委託入庫 (whwmd2550m000) セッションに表示されます。
- プロジェクトペギング在庫 (whwmd2560m000) セッションの受入済数量を更新します。
- ペギングが該当する場合、所要日が近い順に受入済数量をプロジェクトペグに割り当てます。

隔離検査在庫の処理 - 販売業者に返品

[販売業者に返品] という処分は、隔離検査済品目を発注先に返品するときに使用されます。

これはさまざまな状況で不合格になった購買品目に当てはまります。たとえば、次のような品目です。

- 発注先から入庫したときに不合格になった品目
- 次の場面で不合格になった製造資材として使われる品目
 - 倉庫からワークセンタに出庫される時
 - 別の倉庫に移動される時

[販売業者に返品] を選択した処分または処分ラインを処理した後、購買返品オーダーが作成され、隔離検査から品目を出庫して、その品目を発注先に出荷する出庫処理が開始されます。購買返品オーダーは、隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションの [処分オーダー] フィールドに表示される処分オーダーです。

発注先から入庫したときに不合格になった購買品目の場合、購買返品オーダーは、品目を入庫した購買オーダーにリンクされます。

ジョブショップに出庫される製造資材として使用される品目は、出庫倉庫検査時に不合格にして隔離検査に送ることができます。このシナリオで処分が [販売業者に返品] の場合、品目に関連付けることのできる購買オーダーはありません。

そのような場合は、処分ラインの購買元または出荷元取引先と品目の組み合わせが、購買オーダーの実績データまたは履歴データで使用できるかどうかを確認されます。使用できない場合は、取引先を入力したときに警告メッセージが表示されます。それでも返品オーダーを生成することはできます。メッセージは無視してもかまいません。

購買返品オーダーが倉庫管理に発行された後、処理タイプが [出庫] で隔離検査から品目を出庫する倉庫オーダーが作成されます。倉庫オーダーの出荷先情報は購買返品オーダーからコピーされます。

倉庫オーダーに関連付けられた出庫手順と出荷手順を使用して、商品が発注先に出荷されます。出庫勧告の生成時には、隔離検査用にブロックされた在庫だけが使用されます。

注意

購買返品オーダーの一部が出荷されず、バックオーダーが適用されない場合、隔離検査在庫の未出荷数量が [処分待ち] に戻されます。

ペギング不合格品の返品

購買返品オーダーのペグ情報が、購買返品オーダーが生成されたオーダーから取得されます。入庫時に不合格になった品目の場合、これは発生元の購買オーダーに関連する倉庫オーダーの入庫ラインペグから得た情報です。出庫時に不合格になった品目の場合、これは購買返品オーダーに関連する倉庫オーダーの出庫オーダーラインペグの情報です。隔離検査の数量を持つペグが選択されます。

隔離検査数量は、入庫ラインペグ配分 (whinh3528m000) セッションと出庫オーダーラインペグ配分 (whinh2190m000) セッションの [隔離検査在庫] フィールドに表示されます。

返品予定数量が隔離検査在庫から差し引かれ、続いて、プロジェクト在庫から差し引かれます。

関係するペグの場合、返品数量はまず、オリジナル入庫ラインまたは出庫オーダーラインのペグ数量がオーダー数量を超えるペグから差し引かれます。差し引く超過納入数量は、各ペグに均等に配分されます。

これでは返品数量全体を処理できない場合、残りの返品予定数量は、オリジナル入庫ラインまたは出庫オーダーラインのペグ数量が必要な数量を超えるペグからペグライン番号の順に差し引かれます。たとえば、最初はライン番号 10、次に 20 という具合です。

次に、これでもまだ返品予定数量が残る場合、返品数量は、所要日が近いペグから順番に残りのペグから差し引かれます。

購買返品オーダーの返品予定数量をマニュアルで変更することはできません。購買返品オーダーラインのペグを変更しないと、この数量は変更できません。

所有権

委託品目または顧客所有品目の出庫は、出庫オーダーラインの [出庫所有権] フィールドおよび [出庫戦略] フィールドの設定に従って実行されます。

隔離検査在庫の処理 - 再作業

再作業オプションは、既存の仕様または新しい仕様にあわせて品目の再作業を行う必要がある場合に使用されます。

再作業オプションを選択し、選択した処分または処分ラインの処理オプションを選択すると、[JSC 生産] の再作業オーダーが作成されます。再作業オーダーは、品目が隔離検査に送られた発生元オーダーに基づいています。

注意

購買オーダーまたは購買スケジュールが発生元である隔離検査済購買品目の場合、再作業オプションは、発注先に未払 (ページ 31) パラメータが有効な場合にのみ使用できます。

再作業オーダーは、隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションの [処分オーダー] フィールドに表示される処分オーダーです。

[再作業 (新しい仕様)] を選択した場合、隔離検査在庫 (whwmd2671m000) セッションまたは隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションの処分ラインの [終了品目] フィールドで新しい対象品目を指定できます。新しい対象品目は再作業オーダーにリストされます。再作業後、完成時に新しい対象品目が再び入庫されます。

[再作業 (既存の仕様)] を選択した場合、完成時に同じ品目が再び入庫されます。

再作業オーダーが生成されると、再作業予定品目は見積材料ラインとして製造オーダー (tisfc0101m100) セッションおよび見積資材 (ticst0101m000) セッションに表示されます。

再作業オーダーの発行後、倉庫オーダーが生成され、それによって出庫および出荷手順を実行し、再作業品目を製造に出庫し出荷することができます。出庫勧告の生成時には、隔離検査用にブロックされた在庫が考慮されます。

注意

再作業オーダーの一部が出荷されず、バックオーダーが適用されない場合、隔離検査在庫の未出荷数量が [処分待ち] に戻されます。

ペギング

再作業オーダのペグ情報は、発生元オーダの入庫ラインペグまたは出庫オーダラインペグから取得され、隔離検査の数量を持つペグが選択されます。隔離検査数量は、入庫ラインペグ配分 (whinh3528m000) セッションと出庫オーダラインペグ配分 (whinh2190m000) セッションの [隔離検査在庫] フィールドに表示されます。出荷ラインが確認されると、隔離検査数量は減少します。

再作業予定数量が隔離検査在庫から差し引かれ、続いて、プロジェクト在庫から差し引かれます。

再作業数量は、所要日が近い順に、関係するペグから差し引かれます。まず、所要日が一番近いペグから再作業数量が差し引かれます。それでは再作業数量全体を処理できない場合、所要日が2番目に近いペグから差し引かれ、以下同様に続きます。

一番近い所要日が優先されるのは、再作業処理は長引いた入庫とみなされるためです。簡単に言えば、再作業は製造に通常より時間がかかったことを意味します。

[JSC生産]の再作業オーダの再作業予定数量をマニュアルで変更することはできません。再作業出庫オーダラインのペグを変更しないと、この数量は変更できません。

所有権

委託品目または顧客所有品目の出庫は、出庫オーダラインの [出庫所有権] フィールドおよび [出庫戦略] フィールドの設定に従って実行されます。

バックフラッシュ

再作業オーダがバックフラッシュされた場合、出庫および出荷手順は適用されません。その代わりに、バックフラッシュ中に、リンクされた処分ラインの出荷数量が更新されます。再作業オーダがペギングされている場合、オリジナル製造オーダのリンクされた入庫ラインまたは出庫オーダラインペグそれぞれについて、隔離検査数量と出荷数量が更新されます。

隔離検査在庫の処理 - 再分類

再分類とは、ある品目を異なる品目コードで倉庫または倉庫保管場所に保管する機能です。このためには、品目の再分類を実行して、新しい品目コードを指定する必要があります。新しい品目コードは、隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションの [終了品目] フィールドで指定できます。

注意

購買オーダまたは購買スケジュールが発生元である隔離検査済購買品目の場合、再分類オプションは、発注先に未払 (ページ 31) パラメータが有効な場合にのみ使用できます。

処分オプションの [再分類] を選択し、理由コードと新しい品目コードを選択して処分または処分ラインを処理すると、倉庫移動オーダが生成されます。転送オーダは、隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションの [処分オーダ] フィールドに表示される処分オーダです。

再分類した処分ラインは、以下の属性が合致する場合、1つの転送オーダラインに統合されます。

- [終了品目]

- [理由]
- [単位]
- [保管場所]
- [ロット] (少量のみ)
- [シリアル番号] (少量のみ)
- [所有権]

転送オーダーは、転送オーダーに定義された入庫および出庫手順に従って処理されます。出庫勧告の生成時には、隔離検査用にブロックされた在庫が考慮されます。

注意

転送オーダーの一部が出荷されず、バックオーダーが適用されない場合、隔離検査在庫の未出荷数量が [処分待ち] に戻されます。

所有権

委託品目または顧客所有品目の出庫は、出庫オーダーラインの [出庫所有権] フィールドおよび [出庫戦略] フィールドの設定に従って実行されます。

隔離検査在庫の扱い単位

隔離検査品目は、扱い単位に含めることができます。この扱い単位は、倉庫の入庫/出庫検査または製造から隔離検査に送られます。隔離検査 ID が作成されたときに、この扱い単位の状況は [隔離検査] になります。

隔離検査扱い単位をマニュアルで生成または構成することはできません。

隔離検査に扱い単位が存在している場合は、扱い単位または隔離検査 ID 全体を処理すること、または処分を指定することができます。個々の処分ラインを処理することはできません。処分ラインは扱い単位の一部に関連付けられている場合があり、扱い単位の一部を処理することはできないためです。

隔離検査扱い単位のロット品目とシリアル番号付品目

多量ロット品目またはシリアル番号付品目の場合、扱い単位が隔離検査に届く前に、扱い単位のロット登録またはシリアル登録を完了する必要があります。これは、隔離検査 ID の作成時に、扱い単位と処分ラインの関係を判断する際に役立ちます。

製造中に隔離検査に送るときは、入庫が確認される前に、ロット登録またはシリアル登録が必要です。倉庫検査中に不合格になって隔離検査に回されるときは、検査結果が処理される前に、ロット登録またはシリアル登録が必要です。

倉庫検査中の扱い単位の廃棄と不合格

検査で扱い単位の一部が不合格になった場合は、不合格数量が扱い単位から除外され、匿名で処理されます。隔離検査処理が有効である場合、隔離検査において不合格の部分には、扱い単位が存在しません。

検査で全体が廃棄された扱い単位は [クローズ] に設定されます。この扱い単位に含まれる品目は、在庫調整オーダーを通じて削除されます。

検査中に扱い単位の一部が廃棄され、残りが不合格になった場合は、廃棄部分が扱い単位から除外され、不合格部分が隔離検査に匿名で送られます。扱い単位は [クローズ] に設定されます。

注意

一部廃棄ができるのは、最下位レベルの扱い単位のみです。

扱い単位と処分ライン

隔離検査に扱い単位が存在している場合は、扱い単位または隔離検査 ID 全体を処理すること、または処分を指定することができます。個々の処分ラインを処理することはできません。処分ラインは扱い単位の一部に関連付けられている場合があり、扱い単位の一部を処理することはできないためです。

扱い単位の処分を指定すると、関連する処分ラインが更新されます。扱い単位が構造内で最下位レベルの扱い単位であり、処分ラインの一部を対象とする場合、処分ラインは分割されます。新しい処分ラインは、処分が指定された扱い単位の数量で作成されます。

例

扱い単位 HU01、HU02、HU03 が [隔離検査 ID] 100011 に存在しています。HU01 は構造内で最上位レベルの扱い単位で、扱い単位 HU02 と HU03 は最下位レベルの扱い単位です。扱い単位 HU02 と HU03 はそれぞれ数量が 10 です。

これらの扱い単位は、数量が 20 の処分ライン 100011/10 に対応します。

HU03 に [廃棄] という処分が指定されると、新しい処分ラインが数量 10 = [廃棄] で作成されます。古い処分ラインは [処分待ち] のままですが、数量は 10 になっています。

HU01 をリセットすると、扱い単位 HU02 と HU03 の処分は再び [処分待ち] になります。その結果、どちらの処分ラインも処分が [処分待ち] になります。どちらの処分ラインも同一の処分とストックポイント詳細を持つため、これらのラインは 1 つの処分ラインに統合されて、以前の状態が再現されます。

扱い単位構造の処分の指定

隔離検査 ID または処分ラインに扱い単位構造が存在する場合、最上位レベルの扱い単位または子扱い単位の処分を指定できます。

扱い単位の処分を指定すると、この扱い単位の処分が [処分待ち] の子扱い単位もこの処分になります。この処分は、この扱い単位の親にも表示されます。扱い単位構造で同じレベルの扱い単位は影響を受けず、処分が維持されます。

最上位レベルの扱い単位の [処分] フィールドには、子扱い単位の 1 つに指定された最新の処分が表示されます。

子扱い単位に指定された処分も、最上位レベルの扱い単位に表示されます。その後、別の子扱い単位に別の処分を指定すると、この処分も最上レベルの扱い単位に表示されます。

すべての子扱い単位の処分が [処分待ち] 以外である場合、最上位扱い単位の処分を変更できますが、子扱い単位で指定されていない処分に変更することはできません。これは子扱い単位の処分には影響しません。

注意

最下位レベルの扱い単位を一部処分することはできません。そのためには、その扱い単位を削除して、処分ラインを処理する必要があります。

例

扱い単位 HU01、HU02、HU03、HU04 が [隔離検査 ID] 100012 に存在しています。HU01 は構造内で最上位レベルの扱い単位で、扱い単位 HU01、HU02、HU03、HU04 は最下位レベルの扱い単位です。

当初、すべての扱い単位の処分は [処分待ち] です。HU01 に [現状のまま使用] を指定すると、すべての子扱い単位が [現状のまま使用] になります。次に、HU03 に [販売業者に返品] を指定すると、HU01 と HU03 の処分は [販売業者に返品] になり、他の扱い単位は [現状のまま使用] のままです。

すべての扱い単位の処分が [処分待ち] で、HU02 に [現状のまま使用] を指定すると、HU02 の処分のみが [現状のまま使用] になり、構造の他の扱い単位は [処分待ち] のままです。

処分のリセット

扱い単位をリセットすると、この扱い単位とその子取扱い単位は [処分待ち] にリセットされます。この処分は、この扱い単位の親にも表示されます。扱い単位構造で同じレベルの扱い単位は影響を受けず、処分を維持します。

扱い単位の処分の処理

隔離検査に扱い単位が存在している場合は、扱い単位または隔離検査 ID 全体を処理すること、または処分を指定することができます。個々の処分ラインを処理することはできません。処分ラインは扱い単位の一部に関連付けられている場合があり、扱い単位の一部を処理することはできないためです。

たとえば、1つの隔離検査 ID に1つの扱い単位と複数の処分ラインが存在する場合、1つの処分ラインは扱い単位の一部に関連付けられます。各処分ラインは1つの多量シリアル番号付品目を持ち、扱い単位はすべてのシリアル番号付品目を含みます。

処理すると、親の処分とは処分が異なる扱い単位は、扱い単位構造からリンク解除されます。また、扱い単位構造の一部または個々の最下位レベルの扱い単位を処理する場合、処理された扱い単位は扱い単位構造からリンク解除されます。

関連する処分ラインも処理されます。処分ラインに扱い単位が複数存在し、その扱い単位の1つを処理する場合、処分ラインは分割されます。

例

処分ライン A00010 は数量が 20 で処分が [廃棄] です。処分ライン A00010 は扱い単位 HU001 と HU002 にリンクされています。各扱い単位は処分が [廃棄] で数量が 10 です。

HU001 を処理すると、新しい処分ラインが追加されます。追加された A00020 は数量が 10 で処分が [廃棄] です。扱い単位が処理されると、扱い単位処理隔離検査 (whwmd2173m000) セッションの処理情報が更新されます。

現状のまま使用/不良なし

処分が [現状のまま使用] または [不良なし] の扱い単位を処理するときには、扱い単位が倉庫に直接保管され、保管場所が該当しない場合、状況が [在庫] になります。

保管場所が該当する場合、入庫勧告がプットアウェイされると、扱い単位の状況が [在庫] になります。扱い単位が倉庫で使用されていない場合、扱い単位の状況は [クローズ] になり、品目は扱い単位なしで保管されます。

廃棄

廃棄された扱い単位の状況は [クローズ] です。扱い単位に含まれる品目は、調整オーダーを通じて削除されます。

販売業者に返品/再作業 (既存の仕様または新しい仕様)

処分が [再作業 (既存の仕様)]、[再作業 (新しい仕様)]、[販売業者に返品] の扱い単位の状況は、購買返品オーダーまたは製造再作業オーダーの出庫オーダーラインに出庫勧告が作成されるまで、[隔離検査] のままです。

扱い単位に勧告がされると、状況は [引当済] になります。なんらかの理由で出庫勧告が削除されると、扱い単位の状況は [隔離検査] にリセットされます。倉庫と品目の組み合わせについて、出庫処理で扱い単位が使用されていない場合、扱い単位は [クローズ] に設定され、出庫処理は扱い単位なしで実行されます。

再分類

処分が [再分類] の扱い単位を処理するとき、対象品目、処分理由、隔離検査場所、所有権が同一の扱い単位には、同じ転送オーダーラインが勧告されます。扱い単位に勧告がされると、状況は [引当済] になります。

返品予定または再作業予定である扱い単位の処分オーダーの処理

タイプが製造再作業または購買返品処分オーダーにリストされている扱い単位は、次の場合、[処分待ち] にリセットされます。

- 処分オーダーが取り消された
- 扱い単位が [未出荷] に設定された
- オーダー数量が減少した

扱い単位全体の数量が減少した場合、または、[未出荷] に設定された場合、扱い単位は [処分待ち] にリセットされます。

扱い単位数量の一部が減少した場合、または、[未出荷] に設定された場合、扱い単位の処分は変更されませんが、扱い単位の処分済数量はそれに応じて減少し、これは隔離検査在庫扱い単位 (whwmd2574m000) セッションの [処分数量] フィールドに表示されます。

処分オーダーが出荷されると、扱い単位は [処分待ち] にリセットされ、出荷された数量を含みます。

処分オーダーでロットを含む扱い単位の一部が未出荷である場合、出庫勧告の生成時に、その扱い単位は分割されます。

影響を受けない部分は出荷され、未出荷の部分は処分が [処分待ち] の新しい扱い単位に配置されます。

隔離検査扱い単位の処理方法

処分を指定して隔離検査扱い単位を処理するには、以下を実行します。

1. 隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000) セッションで、扱い単位を処理する隔離検査 ID をダブルクリックします。
2. 開いた隔離検査在庫 (whwmd2671m000) セッションで、[扱い単位] タブをクリックします。
3. [扱い単位] タブで、該当する扱い単位を選択し、[扱い単位ツリー] を開きます。
4. [扱い単位ツリー] で、処理する扱い単位を右クリックし、コンテキストメニューの [処分] を選択します。
5. 処分、理由、その他の情報を必要に応じて指定します。
6. 後のステージで処分を処理する場合は、処分を保存します。
7. [処理] をクリックして、処分が [処分待ち] 以外の処分ラインを処理します。

扱い単位の再作業または返品

購買オーダーが発生元で、入庫検査中に不合格になって隔離検査に送られた扱い単位の場合、購買オーダータイプ、オーダーシリーズ、購買元取引先と出荷元取引先のデフォルト値は、処分 (whwmd2272m200) セッションの入庫ラインから取得されます。

出庫検査中に不合格になった扱い単位の場合、購買元取引先と出荷元取引先のデフォルト値は、品目と品目グループの優先順位に基づいて品目購買データから取得されます。

扱い単位の分割

扱い単位が存在する場合、隔離検査在庫処分の分割 (whwmd2272m100) セッションで処分ラインを分割することはできません。処分ラインを分割するには、まず扱い単位を削除する必要があります。

扱い単位の移動

隔離検査在庫の移動 (whwmd2271m100) セッションを使用して、未処理の扱い単位全体を異なる倉庫保管場所に移動することができます。これは、このセッションを [扱い単位ツリー] または隔離検査在庫扱い単位 (whwmd2574m000) セッションから開始した場合にのみ可能です。扱い単位

数量が処分ライン数量よりも少ない場合、扱い単位の移動中に、関連する処分ラインは分割されます。

扱い単位が存在する場合、処分ラインを移動することはできません。処分ラインは扱い単位の一部に関連付けられている場合があり、不完全な扱い単位の移動はサポートされていないためです。

隔離検査扱い単位の削除

隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000) または隔離検査在庫 (whwmd2671m000) セッションで、隔離検査 ID の扱い単位を削除できます。子扱い単位もすべて削除されます。

処理される扱い単位は削除されません。

子扱い単位は、処理時に親扱い単位とのリンクが解除されます。この処理されリンクが解除された子扱い単位は、親扱い単位が削除されても削除されません。

扱い単位が削除されると、関連する処分ラインは [処分待ち] にリセットされます。処分が [処分待ち] の別の処分ラインが存在する場合、ストックポイント詳細が同一であると処分ラインはマージされます。

隔離検査在庫の設定

隔離検査在庫を処理するには、次の設定が必要です。

- 在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [隔離検査在庫] チェックボックスをオンにします。
- 該当する倉庫について、倉庫 (whwmd2500m000) セッションの [隔離検査在庫] チェックボックスをオンにします。
- 導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0100s000) セッションの [外部所有権] チェックボックスをオンにして、隔離検査在庫の作成と更新を可能にします。
- 製造で、各品目について、製造完了後に品目を保管するデフォルトの倉庫を指定できます。デフォルトの各倉庫について、製造中に不合格になった品目を保管する隔離検査倉庫を指定できます。
製造中に不合格になった品目を専用の隔離検査倉庫に送付する場合は、倉庫 (whwmd2500m000) セッションの [隔離検査倉庫] フィールドで隔離検査倉庫を指定します。
- 品目について、品目 - 倉庫管理 (whwmd4500m000) セッションの [不合格処理] フィールドで該当するオプションを選択する必要があります。在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションと倉庫 (whwmd2500m000) セッションの [隔離検査在庫] チェックボックスがオフの場合、このフィールドは使用できません。
- 購買オーダーまたは購買スケジュールから入庫した隔離検査在庫の場合、倉庫検査と隔離検査が完了する前に請求と支払を可能にするには、以下をオンにします。
 - [発注先に支払可能] チェックボックス
 - 在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [隔離検査在庫] チェックボックス
 - 該当する各倉庫について、倉庫 (whwmd2500m000) 詳細セッションの [隔離検査在庫] チェックボックス
- 在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションで、[隔離検査在庫] チェックボックスがオンの場合、隔離検査在庫シリーズと番号グループを選択します。
- 在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [計画に利用可能] フィールドで望みのオプションを指定して、企業計画、時系列オーダーポイント、SIC を使用して計画で隔離検査在庫を使用可能にするかどうかを決定します。
- 在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [計画に利用可能] フィールドで [期日別] を選択した場合、品目 - 倉庫管理 (whwmd4500m000) セッションの [処分期限リー

ドタイム] フィールドで、計画で隔離検査在庫が利用可能になるデフォルトの日時を指定します。

- 倉庫で保管場所を管理する場合は、タイプが [検査] および [隔離検査] の保管場所が倉庫に存在する必要があります。倉庫 (whwmd2500m000) セッションで、倉庫に保管場所を設定するかどうかを指定できます。倉庫-保管場所 (whwmd3100s000) セッションで、倉庫の保管場所を指定できます。
- [隔離検査] の保管場所には次の特徴があります。
 - 保管条件は指定できません。
 - マニュアルロックは実行できません。
 - [複数品目保管場所]、[品目別マルチロット]、または [無期限保管] チェックボックスがオンで使用できません。
- 処分オーダのデフォルトオーダタイプを定義するには
 - 再分類品目の場合、発生元別デフォルトオーダタイプ (whinh0120m000) セッションで、オーダ発生元として [転送] を選択し、処理タイプが [転送] のオーダタイプを選択します。
 - 再作業品目の場合、発生元別デフォルトオーダタイプ (whinh0120m000) セッションで、オーダ発生元として [JSC 生産] を選択し、処理タイプが [出庫] のオーダタイプを選択します。
 - 販売業者に返品する品目の場合、購買オーダタイプ (tdpur0694m000) セッションで、[返品不合格品] タイプという購買オーダタイプを定義します。
この購買オーダタイプを購買オーダパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [不合格返品のオーダタイプ] フィールドで選択する必要があります。
また、購買オーダパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [不合格返品のオーダシリーズ] フィールドでオーダシリーズを使用できる必要があります。

注意

隔離検査機能を使用するには、入庫/出庫倉庫検査を設定する必要があります。例外として、製造作業手順中に不合格になった品目についてのみ隔離検査処理が必要な場合は設定が不要です。これは、製造中に不合格になって隔離検査に送られる品目に対しては倉庫検査が使用されないためです。

発注先に未払の隔離検査在庫

在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [発注先に支払可能] パラメータによって、以下の条件を満たす隔離検査在庫が未払かどうかが決まります。

- 発生元: 購買オーダーまたは購買スケジュール
- 入庫検査中の不合格後に隔離検査

このパラメータは出庫検査後に隔離検査される品目には適用されません。

入庫検査で不合格になった品目の場合、発注先に未払機能により、倉庫検査と隔離検査処理が完了する前に、入庫済数量全体の請求と支払が可能になります。これにより、処分の手順に長い時間がかかることによる発注先への支払遅延のリスクを排除できます。廃棄済、破壊済、または返却済商品の決済は、隔離検査処理後に実行されます。

このために、受取を確認すると、発生元の購買オーダーラインで入庫済数量が承認済として登録されます。倉庫検査概要 (whinh3122m000)、隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000)、または隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションで品目が処理されている間、購買オーダーの承認済数量は更新されません。更新は数量が処理された後、実行されます。

倉庫検査概要 (whinh3122m000) セッションで在庫が不合格になった後、統合取引や(見込の)バックオーダーが生成されることはありません。

注意

購買オーダーまたは購買スケジュールから発生した購買隔離検査品目の場合、発注先に未払パラメータが有効でないと、再作業オプションと再分類オプションは使用できません。これは、[発注先に支払可能] チェックボックスがオフの場合、発注先が不合格品目の所有者であり、不合格商品に支払がなされないのに対し、再作業または再分類は発注先に支払が行われる場合にのみ許されているためです。

発注先に未払機能を使うと、次のように処理されます。

- 処分が[現状のまま使用]または[不良なし]の隔離検査在庫を受け入れた後、新規入庫は作成されませんが、保管場所に直接入庫勧告が作成されます。倉庫が管理済保管場所ではない場合は、受入済在庫のプットアウェイが直接行われます。
- 隔離検査在庫を廃棄した後、品目は入庫後に支払が行われているため、バックオーダーは作成されず、発注先との決済もこの段階では実行されません。

- 隔離検査在庫を販売業者に返品後、顧客所有商品または委託商品の所有権は変更されません。会社が所有する返品品目の場合、その品目は入庫後に支払が行われているため、発注先への請求が行われます。
- 隔離検査場所の処分品目は、入庫場所の品目と同一の評価を受けます。在庫評価レポートでは、処分品目がオリジナル入庫の値でリストされます。

発注先に未払機能を使う際には、ユーザは標準の隔離検査処理方法と同じように、倉庫検査概要 (whinh3122m000)、隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000)、隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションを介して品目を処理します。

発注先に未払パラメータが有効である場合に、ユーザが処分を決定するたびに完了する手順は、発注先に未払なしでの隔離検査処理とは異なります。

発注先に未払と標準の隔離検査処理の比較

標準の隔離検査処理と発注先に未払の隔離検査処理のどちらかを選択するときに役立つように、以下の表に主な違いを示します。

LN 処理	発注先に未払なし	発注先に未払
一般	<p>次の処理で不合格になった後、隔離検査に送られた品目に適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 入庫または出庫検査 ■ 作業手順完了のレポート時の製造 	<p>入庫検査時に不合格になった後、隔離検査に送られた購買オーダーまたは購買スケジュールが発生元の品目のみに適用されます。</p>
入庫確認	<p>品目は会社所有になります。</p>	<p>入庫済品目を承認済として購買オーダーに登録します。品目は会社所有になります。</p>
倉庫検査	<p>承認済数量で購買オーダーを更新します。倉庫検査と隔離検査の処理が完了するまで、入庫済数量全体の請求と支払はされません。</p>	<p>入庫済品目は承認済として登録されたままです。このため、倉庫検査と隔離検査の処理が完了する前に、入庫済数量全体の請求と支払が容易になります。</p>
隔離検査への品目の送付	<p>購買オーダーまたはスケジュールが発生元の品目は顧客所有になります。これは実際の慣行では発注先所有という意味になります。</p>	<p>品目は会社所有のままです。</p>
隔離検査での在庫評価	<p>顧客所有在庫として評価されます。</p>	<p>隔離検査品目は、入庫場所の品目と同一の評価を受けます。在庫評価レポートでは、隔離検査</p>

		品目がオリジナル在庫価値でリストされます。
現状のまま使用/不良なし	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新しい在庫を作成します。 ■ 承認済数量で購買オーダーを更新します。 	保管場所への在庫勧告を直接作成し、在庫は作成しません。保管場所が管理されていない倉庫である場合は、受入済在庫を直接プットアウェイします。
廃棄	購買オーダーまたは購買スケジュールが発生元である品目のバックオーダーまたは潜在的バックオーダーを作成します。	バックオーダーまたは潜在的バックオーダーを作成しません。 会計取引に関連する借方などの発注先支払を作成しません。
再作業	購買オーダーまたは購買スケジュールが発生元である隔離検査品目の再作業はできません。	購買オーダーまたは購買スケジュールが発生元である隔離検査品目の再作業ができます。
再分類	購買オーダーまたは購買スケジュールが発生元である隔離検査品目の再分類はできません。	購買オーダーまたは購買スケジュールが発生元である隔離検査品目の再分類ができます。

発注先に未払 - 現状のまま使用/不良なし

前提条件

- 在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [発注先に支払可能] チェックボックスがオンです。
- 隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションで、ユーザが以下を選択しています。
 - [現状のまま使用] または [不良なし]
 - [処理]

LN の処理ステップ

次のステップが実行されます。

- 隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000) セッションで承認された数量のブロックが解除されます。
- ブロックされた数量が存在する場合は、ブロック済数量を次のセッションで減らします。
 - 倉庫 - 品目在庫 (whwmd2515m000) セッションなどの、品目在庫セッション
 - プロジェクトペギング在庫 (whwmd2560m000)
 - 委託在庫 (whwmd2550m000)
 - 顧客所有在庫 (whwmd2550m100)
- 保管場所が管理されている倉庫でない場合は、倉庫の受入済商品をプットアウェイします。

- 保管場所が管理されている場合は、ユーザが入庫勧告を作成した後に商品を保管場所へ移動するように勧告します。入庫勧告が倉庫手順に従って自動生成される場合は、入庫勧告を作成します。
- 入庫勧告をプットアウェイします。

注意

発注先に支払のない隔離検査処理とは逆に、受入済商品を再度入庫する入庫ラインは生成されません。これは、受入済在庫が、直接保管場所へ移動されるか、入庫勧告によって移動されるためです。

不合格の後に受け入れた商品へクロスドッキングを行ったり、直接資材供給を行ったりすることはできません。

発注先に未払 - 隔離検査在庫を廃棄する

次のステップが実行されます。

- ブロックされた数量が存在する場合は、ブロック済数量を次のセッションで減らします。
 - 倉庫 - 品目在庫 (whwmd2515m000) セッションなどの、品目在庫セッション
 - プロジェクトペギング在庫 (whwmd2560m000)
 - 委託入庫 (whwmd2550m000)
 - 顧客所有入庫 (whwmd2550m100)
- プロジェクトペギング在庫 (whwmd2560m000) セッションで、手持数量から破壊済数量を差し引きます。

発注先に未払 - 隔離検査在庫を返品する

発注先に未払パラメータが有効である場合、隔離検査品目を販売業者に返品するために、以下のステップが実行されます。

- 購買返品オーダーから生成された倉庫オーダーに対して、倉庫オーダー (whinh2100m000) セッションの [発注先に支払可能な返品の隔離検査在庫] チェックボックスが自動的にオンになります。
- オリジナル購買オーダーの所有権フィールドの値が出庫オーダーラインにコピーされます。詳細は、次の情報を参照してください: 購買返品または再作業オーダーの出庫オーダーラインの所有権
- 不合格品目が所有権フィールドに従って勧告されます。出庫オーダーライン (whinh2120m000) セッションの [出庫戦略] および [出庫所有権] フィールドに従って、不合格となった委託および顧客所有品目が出庫処理に引き当てられます。

顧客所有および委託の入庫は次のセッションで表示します。

- 委託入庫 (whwmd2550m000)
- 顧客所有入庫 (whwmd2550m100)

検査のためにブロックされていた品目が、出庫勧告およびピッキングリストに対して利用可能とみなされます。検査のためのブロックは、返品する商品が出荷されたときに解除されます。

- 返品する不合格品目を出荷するときには、検査のためのブロックが削除されます。在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [計画に利用可能な隔離検査在庫] チェックボックスがオンの場合、在庫概要セッションでブロック済計画数量が減らされます。品目がプロジェクト在庫の場合は、プロジェクトペギング在庫 (whwmd2560m000) セッションのブロック済計画数量と手持数量も減らされます。
- 品目が出荷されずに、発送確定保管場所から不合格品保管場所に在庫調整なしで戻された場合は、在庫レベルを更新しないでください。たとえば、輸送手段が利用できないために出荷できない場合などがこれにあたります。
- 出庫オーダーラインの所有権フィールドの設定に従って、在庫処理を処理します。会社所有の返品品目の場合は、貸方票を生成します。これが必要なのは、発注先に支払シナリオでは、会社所有品目は入庫時に支払がなされており、返品時には払い戻しが必要であるためです。顧客所有または委託品目の場合は、購買支払オーダーを生成しません。

注意

出庫検査は、隔離検査から販売業者に返品するために出庫された品目では利用できません。

購買返品または再作業オーダーの出庫オーダーラインの所有権

隔離検査在庫の所有権は、販売業者への返品または再作業のために出庫された時には変更されません。このため、オリジナル購買オーダーまたは製造オーダー (商品の入庫に使用されたもの) の [出庫所有権] フィールドを除く所有権設定が、返品オーダーまたは再作業オーダーから生成された出庫オーダーラインにコピーされます。これは、倉庫管理で設定されます。

オリジナルオーダーの [内部支払] フィールドは、出庫オーダーラインの所有権フィールドに影響しません。次の表は、オリジナルオーダーの所有権と、結果として出庫オーダーラインに設定される所有権を示しています。

返品または再作業オーダーの出庫オーダーラインフィールド
 オリジナルオーダーの外部支払

	会社所有	顧客所有	委託
[支払]	[貨物引換払]	[支払なし]	[使用払]
[内部支払]	[適用なし]	[適用なし]	[適用なし]
[所有権]	[会社所有]	[顧客所有]	[委託]
[出庫戦略]	[フリー]	[制限付]	[制限付]
[出庫元取引先]	フィールドなし	所有者	所有者
[出庫所有権]	導入される内部所有: [会社所有]、それ以外の場合: [会社所有または委託]	[顧客所有]	[委託]

倉庫管理隔離検査 - 不適合資材レポート

品質が導入され、不適合機能が有効である場合、不適合資材レポート (NCMR) を作成して、隔離検査済在庫を処理できます。

不適合資材レポートでは、数量を指定し、隔離検査済品目の処分を決定する必要があります。LN では隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000) セッションの処分が更新されます。処分は、隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000) セッションでマニュアルで処理されます。

不適合資材レポートは次のセッションで作成できます。

- 検査オーダーテストデータ (qmptc1115m000)
- 隔離検査在庫 (whwmd2671m000)
- 倉庫検査 (whinh3622m000)
- 作業の完了レポート (tisfc0130m000)

これらのセッションで、不適合レポート (qmncm1100m000) セッションを開始して不適合資材レポートを作成します。

不適合資材レポートは、隔離検査在庫の作成前または作成後に作成できます。ただし、倉庫検査での未処理の不合格品目によって隔離検査在庫が予想される場合は、隔離検査在庫が作成されるまで、不適合資材レポートを [処分済] に設定することはできません。隔離検査在庫は、隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000) セッションに表示されます。

隔離検査在庫は、入庫または出庫検査で品目が不合格になり処理された後、または、製造作業手順の完了時に不合格品目の入庫が確認された後、作成されます。不適合資材レポートは、発生元のオーダーラインと (該当する場合) 検査ラインが一致する場合、隔離検査 ID にリンクされます。

隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000) セッションでは、処分オプションと分割およびリセットオプションは使用できません。不適合資材レポートで処分を指定する必要があります。処分は、隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000) セッションで更新されます。

再作業、再分類、または販売業者に返品という処分が不適合資材レポートに指定されている場合は、返品オーダー、製造オーダー、品目転送オーダーに設定されたデフォルトオーダータイプに従って、処分オーダーが作成されます。

倉庫検査 (whinh3622m000) セッションで品目が不合格になり、隔離検査に移動されると、不適合資材レポートの隔離検査場所 (該当する場合) が更新されます。

倉庫管理では、各ストックポイントに処分ラインが存在します。関連する不適合資材レポートのために、ストックポイント詳細は不適合レポート (qmncm1100m000) セッションに保管されません。

レポート作業手順の完了

製造作業手順中に不合格になった品目は、作業の完了レポート (tisfc0130m000) セッションの [不合格完成品を隔離検査に移動] オプションを使って品目を隔離検査に移動するまで、同じ不適合資材レポートに蓄積されます。同じ作業手順でそのあと不合格になった品目は新しい不適合資材レポートに登録されます。

[不合格完成品を隔離検査に移動] オプションを選択すると、不合格品目を隔離検査倉庫または隔離検査場所に入庫する倉庫オーダの作成がトリガされます。入庫が確認された後、隔離検査 ID が作成され、隔離検査在庫概要 (whwmd2171m000) セッションに表示されます。

一部処分

対応する隔離検査 ID に対して処分ラインが存在していながら、不適合資材レポートで処分する合計数量が減少した場合、この不適合資材レポートを使ってこれらの処分ラインを完全に処理することはできません。

処分ラインの残り数量を処理するには、不適合レポート (qmncm1100m000) セッションで新しい不適合資材レポートをマニュアルで作成し、その不適合資材レポートを、処分ラインの発生元の検査レコードと倉庫オーダにリンクする必要があります。新しい不適合資材レポートで、処分ラインの処分を指定し、隔離検査在庫 (whwmd2671m000) セッションでその処分ラインを処理できます。

また、[NCMR の分割] オプションを使って不適合資材レポートを分割することで、一部処分を実行することもできます。分割された不適合資材レポートはそれぞれ別の処分をすることができます。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

委託

在庫またはオーダーにある商品の所有権のタイプ

顧客の場合、委託商品は発注先が納入する自社が所有していない、また支払を実行していない商品です。商品を使用、または販売する時に、または商品を受け取ってから一定の期間後に所有者になり、支払が生じます。

発注先の場合、委託商品は顧客に納入したが、顧客が商品を使用、または販売するまで、あるいは商品の入庫後一定期間が過ぎるまで、顧客が所有権を持たない、または支払を実行しない商品です。

商品の入庫と顧客が所有者になる日付までの期間、および支払期限は、発注先と顧客間の契約で規定されます。

関連トピック: 所有権

同義語: 使用払

時系列オーダーポイント

次を参照してください: 時系列オーダーポイント (TPOP) (ページ 42)

不合格在庫

次を参照してください: 隔離検査在庫 (ページ 40)

DMS

次を参照してください: 直接資材供給 (ページ 40)

顧客所有

在庫またはオーダにある商品の所有権のタイプ。顧客所有商品は、入庫、または出庫の倉庫処理中に所有権が変更されない商品です。

たとえば、顧客が外注先に製品の製造に必要なコンポーネントを送付した場合を考えます。これらコンポーネントは、外注先の倉庫での保管時、および製品の製造や顧客への納入にかかわるすべてのロジスティック処理および製造処理全体で顧客が所有しています。

関連トピック: 所有権

隔離検査場所

倉庫検査時または製造時に最初に不合格になった商品が保管され、その処分を決定するためにさらに調査される倉庫保管場所のタイプ。

直接資材供給

(保留中の) 入庫および利用可能な手持在庫を使用して、倉庫のユーザ固有クラスタ内の優先順位の高い需要を満たすようにする供給方法。この供給方法は、直接資材供給分配 (whinh6130m000) セッションを利用して、自動的、対話式、またはマニュアルで実行できます。

略字: DMS

次を参照してください: DMS クロスドッキング、倉庫供給構造

隔離検査在庫

入出庫検査時の最初の不合格後、または、製造時の作業手順の完了時に、隔離検査倉庫または隔離検査場所に送付された在庫

隔離検査倉庫または隔離検査場所では、在庫の最終処分が決定されます。

- [現状のまま使用]
- [不良なし]
- [廃棄]
- [販売業者に返品]
- [再作業 (既存の仕様)]
- [再作業 (新しい仕様)]
- [再分類]

同義語: 不合格在庫

不適合資材レポート (NCMR)

QM/倉庫検査または資材移動時や、資材在庫時の不適合を識別するレポート。

ペグ

プロジェクトと予算、要素と活動の組合せ。プロジェクトの原価、需要、供給の識別に使用されます。

処分オーダー

ユーザが処分ラインを処理した後に生成されるオーダー。処分オーダーは処分を実行するために使用されます。

処分ラインを処理するときにユーザが選択した処分によって、処分オーダーを生成するかどうかと、生成する場合の処分オーダーのタイプが決まります。

処分オプション	処分オーダー
[廃棄]	調整オーダー
[販売業者に返品]	購買返品オーダー
[再作業 (既存の仕様)]	製造オーダー
[再作業 (新しい仕様)]	製造オーダー
[再分類]	品目転送

[現状のまま使用] および [不良なし] という処分の場合、処分オーダーは生成されません。

ストックポイント詳細

品目のロット番号、シリアル番号、在庫日付、有効化コード

会社所有

自社で所有されている商品。在庫またはオーダーにある商品の所有権のタイプ。受渡条件および権利移動地点などの標準属性に基づいて標準業務プロセスに対して設定されます。顧客が商品を受け取ると、または保管すると、商品の所有権が顧客に移ります。発注先から商品を購入する場合は、商品の入庫、または保管後に所有者になります。

関連トピック: 所有権

使用払

次を参照してください: 委託 (ページ 39)

手持在庫

1 つまたは複数の倉庫内にある商品の物理量。保留在庫も含まれます。

同義語: 手持在庫

手持在庫

次を参照してください: 手持在庫 (ページ 41)

ストックポイント

LN で登録できる最小の在庫レベル

ストックポイントは、次のデータで定義されます。

- 倉庫
- 保管場所: 保管場所がある場合のみ
- 品目
- 在庫日付: 後入れ先出しまたは先入れ先出しで作業する場合に重要
- ロット: 品目が少量ロットで管理される場合のみ

時系列オーダーポイント (TPOP)

倉庫への時系列による品目の供給を調整するプッシュシステム

倉庫に供給される品目の数量は、次によって決まります。

- 倉庫の有効在庫
- 特定のオーダー範囲内に倉庫への納入が予定されている在庫
- 品目と倉庫に指定された在庫バッファ (必要に応じ現行期間の季節要因に合わせて調整される)

有効在庫に計画在庫を加えたものが発注点を下回る場合、倉庫の在庫が補充されます。

略字: 時系列オーダーポイント

次を参照してください: 在庫バッファ

索引

- 設定
 - 隔離検査在庫, 29
 - 適切なメニュー, 39
 - 検査
 - 入庫, 14
 - 製造
 - 入庫, 13
 - 委託, 39
 - 扱い単位
 - 隔離検査在庫, 23, 23, 24, 24, 25, 26, 27
 - 時系列オーダーポイント, 42
 - 隔離検査
 - 扱い単位, 23, 23, 24, 24, 25, 26, 27
 - 現状のまま使用, 33
 - 在庫, 9, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 23, 23, 24, 24, 25, 26, 27, 37
 - 廃棄, 34
 - 不合格在庫の受入, 33
 - 不合格在庫の返品, 34
 - 不合格処理, 31, 32
 - 不良なし, 33
 - 不合格在庫, 9, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 23, 23, 24, 24, 25, 26, 27, 37, 40
 - 現状のまま使用, 33
 - 不合格品目保管場所, 9, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 23, 24, 37
 - 発注先に未払
 - 隔離検査, 31, 32
 - 廃棄, 34
 - 不合格在庫の返品, 34
 - 在庫処分
 - 概要, 31, 32
 - 現状のまま使用
 - 隔離検査, 17, 33
 - 不良なし
 - 隔離検査, 17, 33
 - 廃棄
 - 隔離検査, 16
 - 発注先に未払, 34
 - 処分, 24, 25, 26, 27
 - 発注先に未払, 34
 - DMS, 40
 - 顧客所有, 40
 - 隔離検査場所, 40
 - 直接資材供給, 40
 - 隔離検査在庫, 40
 - 設定, 29
 - 不適合資材レポート
 - 隔離検査, 37
 - 処理方法, 15
 - 不適合資材レポート (NCMR), 40
 - NCMR
 - 隔離検査, 37
 - ペグ, 40
 - 処分オーダー, 41
 - ストックポイント詳細, 41
 - 会社所有, 41
 - 使用払, 39
 - 手持在庫, 41
 - ストックポイント, 42
 - 時系列オーダーポイント (TPOP), 42
 - 作業手順完了のレポート
 - 入庫, 13
 - 販売業者に返品
 - 隔離検査, 18
 - 再作業
 - 隔離検査, 19
 - 再分類
 - 隔離検査, 20
-
